

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	福岡県春日市
本事業の担当部局名	こども支援部子育て支援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		春日市次世代の親づくり教育支援事業				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和4年度
総事業費(A)(円)		211,200		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	211,200
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		211,200						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	211,200	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	211,200	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	0	0	0	0		211,200	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		211,200	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の合計特殊出生率は平成15年以降、概ね横ばいで推移しているが、20代後半から30代前半の人口が少ないことや未婚率の上昇傾向から、本市の少子化は今後さらに進むことが懸念されている。 過年度に引き続き、将来のライフデザインについて考える機会を提供するべく、若い世代(中学生)に対して出前授業を継続的に行う。その際、EBPMを意識した事業を推進するため、実施後に事業対象者に丁寧にアンケート調査等を行い、次年度以降により効果的な取組を行えるように留意する。 <本個別事業の位置付け> 中学3年生を対象として、将来に向けた自身のライフデザインを考える機会を提供するため、助産師による授業を行うもの。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	授業の実施	市内の中学校及び県助産師会と連携し、「助産師から大切なあなたへのメッセージ」と題し、地域の助産院で働く助産師による講話及び体験授業を行う。 ○目的: (1)生命誕生の過程を学び、妊婦のからだの変化等を体験することで、命の尊さやいたわり、家族や地域社会で助け合いながら子育てすることの大切さを学ぶ。 (2)思春期の心身の変化を正しく理解し、自分や相手の心とからだを大切にしようとする気持ちを育む。 (3)助産師の目線で、心身ともに大人へと成長する義務教育最後の時期に必要な思春期の健康管理や人との付き合い方を伝え、将来に向けた自身のライフデザインを考える機会とする。 ○対象:市内全6中学校の3年生(※各中学校2コマ、学年一斉に実施) ○講師:福岡県助産師会派遣の助産師 ○内容:生命誕生、思春期の健康管理とライフデザイン、多様性、性暴力、避妊・中絶、妊婦ジャケット・赤ちゃん人形抱っこ体験					
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・本事業は令和4年度に開始し、段階的に実施校を増やしてきた。令和6年度に全校へと拡大し、今後の継続についても中学校及び県助産師会と確認済み。 ・助産師という専門家ならではの視点で、より内容を深めた授業を全校で実施する。保護者の参加も検討する。 ・生徒及び教員へのアンケート結果を踏まえ、授業内容の見直しを行う。							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	子育てを「楽しい」「楽しいことが多い」と感じる親の割合		%	90 (R11年度)	88.3 (R5年度)
	子育ての悩みとして「子育てに関して配偶者などの協力が少ない」を挙げた親の割合		%	5 (R11年度)	5.5 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.43 (R4年)	
	婚姻件数		件	448 (R4年)	
	婚姻率			4.08 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	実施中学校数	校	6 (R8年度)	6 (R7年度)
	②	参加生徒数	人	1,000 (R8年度)	1,031 (R7年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R8年度)	88.4 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	赤ちゃんに親しみを感じた生徒の割合	%	85 (R8年度)	80.4 (R7年度)
	⑤	将来親になって子どもを育てたいと思う生徒の割合	%	60 (R8年度)	57.4 (R7年度)
	⑥	プレコンセプションケアの重要性を感じた生徒の割合	%	95 (R8年度)	91.9 (R7年度)
	⑦	将来のライフデザインを考えるきっかけになったと感じた生徒の割合	%	85 (R8年度)	83.1 (R7年度)
	⑧				